

第百三十九回九州地区高等学校野球大会出場にあたり

本日十月二十日より九州大会へ向けて出発します。本大会は各県二チーム・開催県（大分）四チームの代表によるトーナメント方式で行われ、ベスト四に入れば大きく春の選抜甲子園に近づく大会です。県予選では接戦となる試合ばかりでしたが、皆様方の応援のおかげで、創部六十九年目にして初の準優勝という結果を残すことができました。高校野球に携わる多くの人が目指す甲子園出場へ一歩近づけた事を嬉しく思っています。しかし、本当にまだ何も成し遂げただけでは無いので、もう一度目標を再確認し、気を引き締めて九州大会に臨みたいと思います。

出場にあたり、今私が置かれている環境に心から感謝をしています。まず、幸運にも現在監督をさせて頂いていること。そして、何よりもいつもご迷惑をおかけしているにも関わらず、気にかけて下さり、私の足りない部分を文句一つ言わずに支え、指導して下さいる先生方がいるということ。本当にありがとうございます。部員共々ご迷惑をかけたのですが、先生方のお気遣いや厳しくも温かいご指導に感謝の気持ちでいっぱい。また、本校は他の部活動も熱心に活動しており、その姿に刺激を頂いたことも今回勝ち上がった要因の一つであると感謝しています。野球というスポーツはメディアで取り上げられる事も多く、注目度が高いスポーツです。しかし、何も特別なことはありません。それを部員・指導者が勘違いや間違いを起こさないよう、謙虚な気持ちと感謝の心を持ってこれからも共に頑張らせて頂きたいと考えています。

高校生のような文章で申し訳ありませんが、とにかく最大の感謝の気持ちを持って戦ってきたと思います。宮崎県代表として、何より先生方がつくりあげて下さっている高千穂高校の生徒の代表として九州の舞台に立ち、正々堂々とプレーをしてきたいと思っています。天孫降臨打線を爆発させてきます。最後になりますが、今回多くの先生方のご厚意による御支援、御協力が本当に励みになりました。ありがとうございます。

平成二十八年十月二十日

宮崎県立高千穂高等学校野球部 監督 戸高 裕貴